（試験規程　別表１）

ＧＰＡ制度による評価

特に、海外への留学や就職時にＧＰＡ制度による成績評価が必要な場合、申出により、学則の成績評価に基づき、下記の基準で評価する。

ＧＰＡ制度（ Ｇｒａｄｅ Ｐｏｉｎｔ Ａｖｅｒａｇｅ ）

欧米の大学や高校で一般的に使われている成績評価制度で、各科目の成績から特定の方式によって算出される学生の成績評価値のことで、履修登録した科目毎の５段階評価を４.０から０までの点数（ＧＰ＝グレード・ポイント）に置き換え、単位数をかけ、その総和を履修登録単位数の合計で割った平均値。

将来、海外の大学・大学院などへの留学並びに外資系企業や海外での就職の際に、海外でも通用する成績評価制度です。

ＧＰＡの評価対象科目

評価対象となる科目は、基本的には通常授業科目で、かつ試験等で点数評価をされる科目。

特別教育分野の科目で、点数評価ではなく単位認定のみされる科目は対象とならない。

ＧＰＡの成績評価基準

出　席　率	評価点数	評価グレード	合　否
６６.７％ 以上	１００～９０点	４.０	合　格
	８９～８０点	３.０	
	７９～７０点	２.０	
	６９～６０点	１.０	
	５９～　０点	０.０	不合格

（注）上記（66.7%）の出席率を満たし、試験の点数によりグレードポイントが付加されます。

ＧＰＡの計算方法（例）

（例）７科目履修として

○○概論	（２単位）	９５点	４.０（ＧＰ）
××演習	（４単位）	８０点	３.０（ＧＰ）
△△研究	（２単位）	７５点	２.０（ＧＰ）
□□学	（２単位）	９３点	４.０（ＧＰ）
●●制作	（４単位）	７６点	２.０（ＧＰ）
■■企画	（３単位）	６３点	１.０（ＧＰ）
●●演習	（１単位）	５７点	０.０（ＧＰ）
合　計	１８単位		

４.０×（２＋２）単位＋３.０×（４）単位＋２．０×（２＋４）単位＋１.０×（３）単位

１８単位

ＧＰＡ＝　４３単位　／　１８単位　≒　２.３９